

平成22年度 学 校 評 価

「評価」欄の「A～D」…A（達成できた）・B（だいたい達成できた）・C（あまり達成できなかった）・D（達成できなかった）

学校教育目標	中・長期的目標		
1. 真理と学問を愛し、豊かな知性に基づいて正義と道徳とを重んずる精神を育成する 2. 清純高潔な品性と豊かな趣味とを育成する 3. 自分を理解し愛するとともに、自然及び他人に対する深い理解と愛情とを養う 4. 勤労の価値を自覚し、積極的に活動する人間育成に努める 5. 健康な身体と明朗で寛容な態度を養い、何事にも全力を尽くせる人間形成に努める	1 基礎学力の定着を重視した進学校 2 安心して学校生活を送れる環境 3 クラブ・生徒会活動で自己を生かせる学校 4 地域に開かれた学校		
	本年度の重点目標	評価の観点	
	0 生活指導・学習指導・進路指導を充実させる土台として、教師と生徒との対話・面談を重視する。	a 保護者懇談会や考査ルーティーンの一環としての面談を充実させる。 b 必要に応じて面談の機会を設定し、生徒個々に適切な指導を行う。	
	1-1 日々の授業を充実させる。	a 教師自らが、授業開始時刻と終了時刻を厳守する。 b 生徒の集中力を養成する工夫を実践する。 c 授業公開や教科内での研究を活発にして、進度や授業内容の充実を図る。 d 生徒が家庭学習を習慣化できるよう指導をする。	
	1-2 考査ルーティーンの定着を通して、学習習慣の確立と学習方法を習熟させる。	a 目標設定→計画立案→やり直し→反省のサイクルを習慣化させ、特に考査前の学習時間を保障する。 b 質問タイムを充実させ、学習室の有効活用を図り、考査前学習週間の学習環境を整える。	
	1-3 確認テストを充実させ、進路目標を実現するのに必要な基礎学力を身につけさせる。	a 事前の課題学習も含めて、確認テストを充実させる。 b 校外模試における学習到達度の向上を図る。	
	1-4 ハイレベル講座を充実させ、センター試験を利用して希望進路を実現できる学力を養成する。	a 年間の実施回数を適正化し、生徒の進路意識を高める。 b 講演会や補習を充実させ、意欲ある生徒集団をサポートする。	
	2-1 生徒の規範意識を高める。	a 生徒の人権意識を高め、モラルを向上させる。 b 交通安全への意識や交通マナーを向上させる。	
	2-2 身だしなみの改善を図る。	a 統一的な身だしなみ検査の定着を図り、生徒の意識を向上させる。	
	2-3 毎日の清掃を徹底させ、環境・衛生面の向上に努める。	a 職員・生徒が協力して、清掃の徹底を図り、美化に努める。 b 特に、トイレ・昇降口・階段・廊下等を重視する。	
	3-1 クラブ加入を積極的に勧め、活動の一層の充実を図る。	a 新入生のクラブ加入率8割を目標とし、各クラブ活動の充実と、それによる学校の活性化を図る。	
	3-2 校外清掃等地域への奉仕活動を通し、生徒の自主的精神を育てる。	a エコ活動、ボランティア活動、校外清掃等、クラスへの呼びかけも行き、一般生徒も巻き込んだ活動に発展させる。 b 「地域住民生徒懇談会」を充実させ、生徒の自主的な問題解決能力を高める。	
	4-1 PTA活動を活性化させる。	a 学級PTAを実施し、情報交換の場として活用する。 b 学校情報の確実な伝達に努め、保護者との意思疎通を図り、連携を深める。	
	4-2 文教地区を利用した小中高連携を図り、教職員及び生徒間の交流を深める。	a 近隣校との交流を拡大する。 b 「エコ活動」を通じて、小・中の児童・生徒会と連携し、生徒間の交流を深める。	
4-3 「日滝の杜だより」の発行を継続するとともに、ホームページの一層の充実を図る。	a 「日滝の杜だより」の定期発行と内容の充実を図る。 b ホームページの更新頻度を高め、発信する情報の質量をともに充実させる。		